

平成25年12月5日

川崎市長 福田紀彦 様

川崎市事業評価検討委員会
会長 佐土原 聡

平成25年度第1回川崎市事業評価検討委員会の審議結果について

川崎市事業評価検討委員会設置要綱第2条第1項の規定に基づき、国庫補助事業等に係る公共事業の事前評価及び再評価の実施に対する対応方針（案）並びに社会資本総合整備計画の事後評価の内容について、本委員会において審議を行いました。その結果を次のとおり意見を添えて具申します。

1 審議実施事案

- (1) 平成25年度に再評価を実施した事業
都市計画事業 登戸土地区画整理事業
- (2) 平成25年度に事後評価を実施した社会資本総合整備計画
 - ア 川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備
 - イ 川崎市内における総合的な安全防災を促進する交通環境の整備（防災・安全交付金）
 - ウ 新百合ヶ丘駅周辺地区都市再生整備計画
 - エ 活力とうるおいを次世代へ（川崎市公共下水道）（防災・安全交付金）
- (3) 平成25年度に事前評価を実施した事業
末吉配水池耐震化事業

2 審議結果

評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、次のとおり判断しました。

- ・ 1（1）の1事業の対応方針（案）については「継続」が妥当
- ・ 1（2）のアからエまでの4計画の事後評価の内容については、透明性、客観性及び公正さが確保されており妥当
- ・ 1（3）の1事業の対応方針（案）については「着手」が妥当

また、審議にあたり委員より出された意見を別紙のとおりまとめ、付記します。

付帯意見**1 都市計画事業 登戸土地区画整理事業**

本事業の実施が地域の防災性の向上等に寄与することを踏まえ、住民の意向確認や移転等による負担軽減に配慮しつつ、早期の事業完了に向けた取組を進めることが望まれる。

また、本事業による道路整備の結果、交通事故が増加することのないよう配慮するとともに、区画整理事業以外の防災対策の手法も検討していくことが望まれる。

2 川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備

本件のような複数の道路整備事業を含む計画の成果の把握に当たっては、道路ネットワーク全体を捉えた分析や住環境の保全、バリアフリーといった視点からの目標設定の可能性などについて検討していくことが望まれる。

また、本計画に含まれる各事業の実施結果・成果に対して、市民や事業者からより多くの意見が集まるよう、告知の方法等に工夫が必要である。

3 川崎市内における総合的な安全防災を促進する交通環境の整備（防災・安全交付金）

本件のような交通安全に係る事業を含む計画の評価のため、人身事故件数を評価指標として設定する際には、計画の実施結果・成果を次期計画に反映させていく観点から、今後は事故発生箇所ごとの件数などの地域の特性を踏まえたデータに基づいたものとするのが望まれる。

また、歩行空間の安全性の向上や橋梁の長寿命化を目的とした事業について、人命に関わる安全確保の達成度に完全というものはないという意識を持ちながら、市民への分かりやすさに配慮した、より丁寧な説明が望まれる。

4 新百合ヶ丘駅周辺地区都市再生整備計画

本件のような歩行空間整備を含む計画の評価に当たっては、エレベーターの整備率よりも、利用者の満足度や段差なしで到達することができないエリアの減少率等を指標として設定するなど、アウトカム指標の考え方を導入するとともに、施設整備後の維持管理が継続して行われるかという視点も考慮していくことが望まれる。また、本計画に含まれる各事業の実施結果・成果に対して、市民や事業者からより多くの意見が集まるよう、告知の方法等に工夫が必要である。

5 活力とうるおいを次世代へ（川崎市公共下水道）（防災・安全交付金）

本計画に含まれる事業の実施結果・成果を分かりやすく説明するため、重点的に耐震化を進めるべきとされる管路の耐震化実施比率や、耐震化事業の実施によってどのような効果が見込まれるのかを資料として示すことが望まれる。

また、アンケート調査などの実施や取りまとめにあたっては、市民に分かりやすい、より丁寧な方法が望まれる。

6 末吉配水池耐震化事業

本事業を実施した結果、地震による損傷・損壊を免れたにも関わらず、停電等により水道施設が機能しない事態を避けるため、耐震化以外の対策を併せて災害時の対応策全体を着実に進めていくことが望まれる。